



①②福祉の職場見学・体験ツアー（県社協ニュース） ③子ども支援サークル「にっこにこ」（現場からの発信）

岡山県社会福祉 10

特集 共同募金運動創設70年
～共同募金における運動性の再生に向けて～

p2

p5 赤い羽根共同募金
共同募金運動／赤い羽根備前焼チャリティ 他

p6 県社協ニュース
第1回 岡山県地域公益活動推進研究会 開催報告
おかやま介護の日2016／福祉の就職総合フェア岡山冬のご案内
ゆうあいセンターからのご案内
福祉の職場見学・体験ツアーを開催
小地域福祉活動推進研究会・市町村社協ボランティアセンター検討会開始 他

p10 現場からの発信
学生目線で子どもを笑顔にする活動
「倉敷トワイライトホーム」
～子ども支援サークル「にっこにこ」～

p12 「ふくし」の仕事人たち
SELP商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>

Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

共同募金運動創設70年

～共同募金における運動性の再生に向けて～



共同募金運動は、昭和22年、戦後間もない時期に、市民主体の運動として始まり、戦争の打撃を受けた福祉施設の復旧などに大きな役割を果たしました。

その後、福祉施設だけでなく、子どもの遊び場整備や障がい者の社会参加のための小規模作業所への支援など、時代に合った助成を行ってきました。そして、施設整備から地域福祉へと重点が変わるとともに、「災害等準備金」が設立され、大規模な災害時にも大きな役割を果たすことになりました。

運動創設から70年がたった今日、公的な福祉制度が充実してきている一方で、孤独や孤立、児童虐待など社会課題は多様化、複雑化してきています。こうした課題の解決に取り組む「じぶんの町を良くするしくみ。」としての共同募金運動の役割は今後ますます高まっていくとともに、新たな活動展開が求められています。

そうしたなか、このたび共同募金運動創設70年を機に、「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金のさらなる発展をめざし、中央共同募金会から共同募金70年答申が示されました。その概要をご紹介します。

中央共同募金会70年答申について

中央共同募金会企画・推進委員会（委員長：上野谷加代子 同志社大学教授）は、共同募金運動創設70年を迎えた平成28年2月「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造～共同募金における運動性の再生～」と題する答申（以下、「70年答申」）を行いました。

70年答申では、現在の共同募金の課題として、本来共同募金が持っていた「運動性」が長い歴史の中で失われつつあること、その運動性を再生することが共同募金の発展と地域福祉の推進につながる事が述べられています。

70年答申における「共同募金の運動性」とは

1 運動を通じて地域課題の解決を図る

共同募金運動を通して、地域における課題を明らかにし、その解決策や活動を企画・実施することによって課題の解決を図る。そうした課題解決の積み重ねを地域や社会の変革につなげること。

2 地域住民の参加と、地域課題や活動への理解を促進する

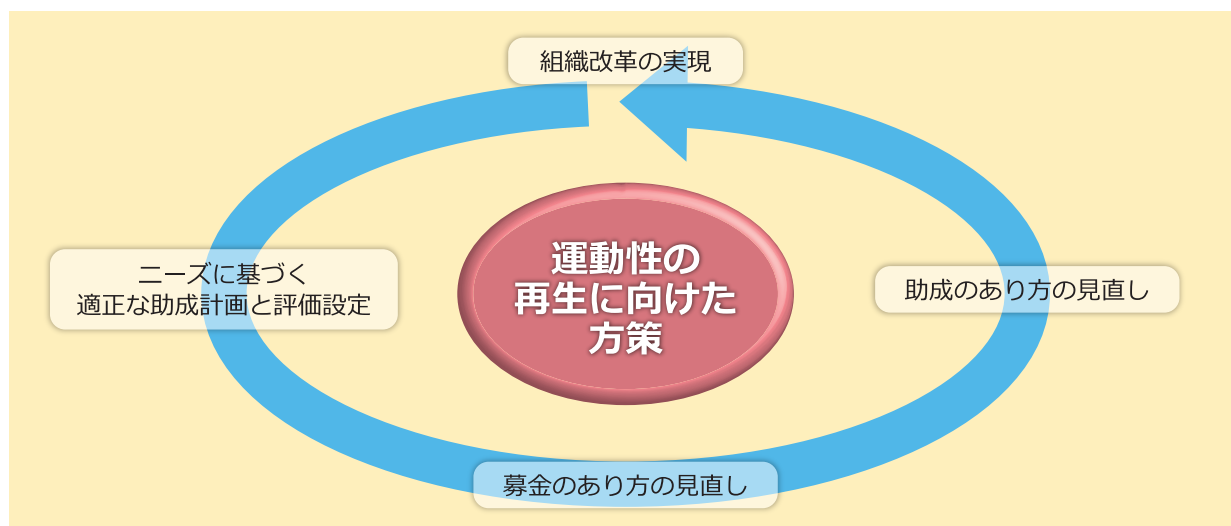
福祉活動を行う人や団体、課題を抱える人や団体などを含め多様な人や団体が運動に参加し、運動を通じて地域の課題を伝え、人びとに気づきや理解、共感を促し、より多くの住民の活動への参加や募金への協力を得ていくこと。また、運動への地域住民の参加は、地域の課題や福祉活動に関する関心や理解を高める、「福祉教育」の機能を果たす。

3 助成や募金を通じた福祉活動団体の基盤づくり

地域福祉推進に関わるさまざまな人や団体が、共同募金の助成を通じて運営や活動の基盤をつくり、運動への参加経験をもとに自ら寄付を集めるためのノウハウを蓄積し、自立できるよう支援する。そうした組織としての「運動性」を活性化させていくことが重要となる。

70年答申に基づく推進方策

中央共同募金会において、この答申内容を具体化し、明確な目標をもって取り組みを進めるための指針として、「70年答申に基づく推進方策」が策定され、市町村共同募金委員会の活性化・機能強化策、都道府県共同募金会の助成・募金機能強化策などが示されました。



市町村共同募金委員会の取り組み

【重点目標】

＝運動性の再生による共同募金運動の活性化＝

【取り組みのポイント】

- ①地域住民が自ら募金の使いみちを決定する助成審査のしくみづくり
- ②地域の多様な人たちが参加し、主体的に募金運動を展開する運営委員会づくり
- ③募金の目的や使いみちを理解していただくための自治会や寄付者への丁寧な説明
- ④企業や店舗など、既存の寄付依頼や募金箱設置先の状況確認と新しい依頼先の開拓
- ⑤テーマ募金や寄付つき商品など新しい募金方法の研究と実施

都道府県共同募金会の取り組み

【重点目標】

＝運動性の再生に向けた市町村共同募金委員会の支援＝

【取り組みのポイント】

- ①市町村共同募金委員会の活性化のための環境整備
- ②都道府県域でのニーズキャッチのための協議の場の設置
- ③都道府県域での新しい地域課題の把握と助成プログラムの開発・充実
- ④都道府県共同募金会の経営に関する検討や自己評価の取り組み推進

これを受け、中央共同募金会及び都道府県共同募金会は、今後、答申内容を具体化するための取り組みを進めていくこととしています。

岡山県共同募金会の取り組み

岡山県共同募金会では、中央共同募金会の70年答申や社会福祉法の改正を受け、本年4月、「岡山県共同募金会 企画・推進会議」を立ち上げ、今後の岡山県における共同募金運動のあり方等について議論を行っているところです。

今後、企画・推進会議からの「意見具申」を尊重し、推進方策を作成するとともに、実施することにより、地域の課題解決を支える共同募金が、多くの住民が参加する最も身近な社会貢献のしくみとして発展するよう努めてまいります。

共同募金活性化に向けた岡山県共同募金会の新たな取り組み

岡山県共同募金会では、共同募金の活性化に向けた様々な取り組みを行っています。今回、新たに立ち上げた2つの募金・助成プロジェクトをご紹介します。この2つのプロジェクトは、福祉に関わる多様な人や団体が共同募金運動に参加し、その運動を通じて地域の課題を伝え、人々に気づきや理解、共感を促し、それにより多くの住民の参加や募金への協力を促していくことを目指しています。

● 赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」

赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」（昨年度までは、「地域から孤立をなくそう ささえあいプロジェクト」として実施）は、地域の様々な社会課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働して、その課題を解決していく必要性を広く県民の皆様にアピールしながら、NPO法人等の活動に必要な資金を募集するものです。共同募金運動期間の拡大の機会を活用し、地域の社会課題の解決に取り組むプロジェクトです。「新しいささえあい」のかたちを実現するとともに、社会課題の解決を目指します。



昨年度の参加団体のチラシ
(実施期間：平成28年1月1日～2月29日)

● 赤い羽根共同募金「寄付つき商品 地域支援プロジェクト」

赤い羽根共同募金「寄付つき商品 地域支援プロジェクト」は、企業等の「社会貢献活動」と「赤い羽根共同募金」を結びつける新たな取り組みです。

企業等が通常の営業・販売活動のなかで「寄付つき商品・企画」をつくり、その売上の一部を共同募金に寄付することにより、企業等が所在する地域の福祉活動を支援することを目的としています。商品・サービスを購入する顧客（住民）の方々は通常の消費活動で地域の福祉活動を支援できるという、企業等、顧客、共同募金会3者にメリットがある関係づくりをめざすもので、多くの企業等の参加を目指しています。



「倉敷～赤い羽根思いやりプロジェクト」
(株式会社しんすけ／平成28年7月27日 調印)

「赤い羽根思いやりミニ懷石」「赤い羽根思いやり天領御膳」などを注文すると、その売上げの一部が、共同募金会を通じ地元（倉敷市）の地域福祉活動に使われます。



『えんどう家の漬物』地域支援プロジェクト
～あなたの“おいしい”が、地域の福祉に役立ちます～
(えんどう家の漬物／平成28年9月23日 調印)

「白瓜の奈良漬け」または「福部らっきょう漬け」を購入すると、その売上げの一部が、共同募金会を通じ地元（岡山市）の地域福祉活動に使われます。

赤い羽根共同募金



おかげさまで70周年

岡山県共同募金会

今年も10月1日から共同募金運動が始まりました。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金は地域での福祉活動を行う住民ボランティアを応援する募金です。

今年度も、未来を担う子どもたちに赤い羽根共同募金を通じて「思いやりの心」や「助け合うことの意義」などを分かりやすく親しみやすく伝えることなどを目的とし、妖怪ウォッチ制作委員会様の協力を得て、妖怪ウォッチとのコラボグッズを作製しています。



妖怪ウォッチのキャラクターたちが
赤い羽根共同募金を応援します♪



赤い羽根備前焼チャリティ

本年度も10月18日(火)、19日(水)に岡山駅中央エスカレーター横にて本会会長藤本道生(三猿)の作品による「赤い羽根備前焼チャリティ」を開催いたします。

このチャリティの売上金は全額、今年度の共同募金に繰り入れさせていただきます。

皆様のお越しをお待ちしています。



©L5/YWP・TX

平成29年度「赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業」

福祉を目的とするボランティア団体やNPO法人等非営利の団体の事業を支援するため、公募方式により助成要望事業を募集し、選考のうえ、助成します。

◆対象とする事業

平成29年4月1日～平成30年3月31日までの間に実施完了する次の事業を対象とします。

- (1)子育て支援や児童の健全育成に関する事業
- (2)障がい者の自立した生活や社会参加を促進する事業
- (3)高齢者の生活支援等に関する事業
- (4)虐待、ひきこもり等の社会問題に取り組む事業
- (5)ボランティア・NPO活動を担う人材の育成事業
- (6)その他、福祉に関する事業

◆募集期間

平成28年10月1日～同年11月30日

◆助成金額

事業にかかる経費の3/4以内、50万円限度

詳しくは、岡山県共同募金会までお問い合わせください。

住所：岡山市北区南方2-13-1
TEL：086-223-0065



第1回岡山県地域公益活動推進研究会 開催報告

8月2日、きらめきプラザにおいて「第1回岡山県地域公益活動推進研究会」を開催しました。

この研究会は、平成28年3月31日に公布された「社会福祉法等の一部を改正する法律」において、すべての社会福祉法人に「地域における公益的な取組」（地域公益活動）を実施する責務が規定されたことを受け、岡山県内の社会福祉法人による地域公益活動の今後のあり方について検討を行うため、

岡山県社会福祉法人経営者協議会との連携のもとで設置しました。第1回研究会



会では、今後の地域公益活動の推進における展開イメージについて、研究会委員（施設法人、市町村社協、学識経験者）と県社協が、地域公益活動に対する思いを共有するワークショップを実施しました。「住み慣れた地域で、誰もがいきいきと暮らせる地域社会」の実現に向け、社会福祉法人が果たす役割について考え、活動展開に向けた思いや取組み課題等について意見交換を行いました。このワークで出たキーワードをもとに、目指すべき理念や事業方針について検討していきます。

今後、岡山県内の社会福祉法人等で組織する「岡山県地域公益活動推進委員会（仮称）」の設置に向け、研究会を重ねていくとともに、他県の先進的な取組みの視察なども行っていく予定です。



おかやま介護の日2016のご案内

～11月11日は、介護の日～

今後、高齢化がさらに進行することが予想される中で、福祉・介護の分野で従事する人材の確保が課題となっており、福祉・介護サービスの仕事が、働きがいのある職業として認知され、特に若い世代から魅力のある職業として選択されるような取り組みが必要とされています。当イベントは、福祉・介護サービスの意義や仕事の理解及び、福祉人材の確保・定着を推進することを目的に開催します。

◎日時：平成28年11月5日（土） 13:00～16:15

◎場所：おかやま未来ホール イオンモール岡山 5階
（岡山市北区下石井1-2-1）

◎内容：13:10～

『第2回カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト』

★介護現場で働いているカイゴ男子・カイゴ女子を発掘するプロジェクト！事前審査を通過したカイゴ男子・カイゴ女子がグランプリ目指して仕事やプライベートの様子をアピールします。

14:20～『今日だけ聞ける若手職員本音トーク』

★カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクトでエントリーされた魅力的な介護職員が会場だけで聞ける本音トークをします！

15:00～ ふれあいトークショー

『私の声優人生～これから夢を掴むあなたへ～』

ゲスト 声優 野沢雅子氏

◎対象者：介護の仕事に関心のある小学生・中学生。働くことを考え始めた高校生・大学生。福祉・介護業界へ就職を考えている方。介護の仕事に興味関心のある方等。

◎参加費：無料

<問い合わせ先>

岡山県社会福祉協議会 福祉経営支援部 福祉人材センター
TEL：086-226-3507 FAX：086-801-9190

“お車の共済の事なら！”



西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927

岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F

TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25

TEL：092-441-5901

NJ730. 1603. 0250. 999999



●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画・製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

福祉の就職総合フェア 岡山冬のご案内

福祉人材を求める事業所等と、福祉職へ就職を希望する方との面談の場を設定し、福祉マンパワーの確保を行なうことを目的に開催します。

【日程】

平成28年12月18日(日)

【会場】

岡山ロイヤルホテル

【対象】

未経験の方、福祉現場に関心のある方、就職や転職を考えている方、今年度・来年度卒業予定者等、どなたでも参加可。

【内容】

・福祉の職場プレゼンテーション
カイト男子・女子による介護の魅力発信メッセージ(10時～12時10分)

・職場面談会ガイダンス(12時10分～12時20分)

・職場面談会(13時～16時)

【問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会
福祉経営支援部福祉人材センター
TEL: 086-226-3507

シニア向け福祉職場就職支援セミナーのご案内

中高年層の福祉・介護人材確保を目的として、福祉職場の就労・職場体験等の情報提供を行うセミナーを開催します。

■ 日程：平成28年11月30日(水)

■ 会場：おかやま西川原プラザ

■ 対象：福祉の仕事に興味のあるシニア世代の方。

■ 主催：岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会

■ 内容：・講演・落語(13時～14時20分)

演目「落語家さんのヘルパー修行日記
～介護は十人十色～」

講師 落語家 林家源平さん

・年金相談(岡山県内年金事務所)(13時～16時)

・面談・各種相談会(14時30分～16時)

【問い合わせ先】一般社団法人 岡山県老人保健施設協会 TEL: 086-362-5540

2017年版岡山県福祉手帳のご案内

県内の福祉施設・団体名簿(住所・電話番号)や社会福祉法令等を掲載した「岡山県福祉手帳」を販売します。福祉関係者はもちろんのこと、福祉関係者と連携・協働した事業や取り組みを考えている企業・団体等の皆様にも広くご活用いただける内容となっています。ぜひこの機会にお買い求めください。

◆ 規格 横85mm×縦144mm/カバー仕様

◆ 価格 600円(税込) ※県社協会員は送料無料。

※お届けは、11月下旬以降となります。

【問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会 総務企画部
TEL: 086-226-2822 FAX: 086-227-3566
<http://www.fukushiokayama.or.jp/about/book/>

11月1日は『おかやま教育の日』です

11月1日は、「おかやま教育の日」、11月1日から7日は、「おかやま教育週間」です。「おかやま教育の日」をきっかけとして、学校・家庭・地域においてみんなで教育について考え、そしてさまざまな形で教育に参加していただき、県民総参加による教育に取り組んでいきましょう。



【問い合わせ先】

岡山県教育庁教育政策課 教育企画班
TEL: 086-226-7571

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！



労務管理で
困っている

・就業規則の見直し ・人材育成 ・人材定着
・助成金の活用 ・セミナー講師 ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子

〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人

検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！
メルマガはHPからお申し込みください。

ゆうあいセンターからのご案内

【問い合わせ先】

TEL:086-231-0532 FAX:086-231-0541

開店！「ゆうボラおかめ茶屋」

“ボランティア”をキーワードとしたちょっとしたコミュニティ

おかめ茶屋とは、ボランティアを「これから始めたい人」と「始めたばかりの人」が集い、ボランティアに関するあれこれを、ざっくばらんに喋ったり話を聴いたりしながら過ごす気軽な茶話会です。「ボランティアを始めたいけれど、ほかの人ってどんな活動をしているんだろう?」「始めたきっかけってみんな同じ?」「ボランティアを始めてみたら、こんな出来事があってびっくり!誰かに聞いてほしい!」そんなみなさんの思いや喜び、素朴な疑問などを、気軽に話し合える場。

亭主はゆうあいセンターボランティアの「おかめさん」こと詩叶純子(しかなえじゅんこ)さんと、ゆうあいセンタースタッフ。これからボランティアを始めたい人の背中をそっと後押しし、ボランティアを始めてみた人の思いや、活動にまつわるエピソードを引き出します。

これからボランティアを始めたい方、その一歩をおかめ茶屋から始めてみませんか?まずは一度のぞいてみてください。お待ちしております♪

◆開催日:ひと月に1~2度、開催しています

◆会場:きらめきプラザ2階「ゆうあいセンター オープンスペース」
(岡山市北区南方2-13-1)

◆お申し込みは:上記、ゆうあいセンターにお気軽にお問い合わせください。

下記HPからもお申込みいただけます。

<http://youi-c.okayama-share.jp/>

おかめ茶屋

検索



ソウェルクラブへようこそ!!

●福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に厚生労働大臣から指定された唯一の法人です。個々の法人では成し得ない福利厚生事業を全国規模で共有化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、会員のニーズに応じた多種多様なサービスを提供しています。

●岡山県社会福祉協議会では、同センターの岡山県事務局(業務委託団体)として、地域に密着した会員のニーズに対応しています。

サービス内容

給付事業、健康管理サービス、各種講習会・海外研修の実施、
レジャー・宿泊施設の割引、各種保険・ローン、
クラブ・サークル活動助成、会員交流事業(日帰り旅行や食事会等)

掛金

職員一人当たり毎年度1万円
職員一人当たり毎年度5千円

※原則常勤職員対象
※非常勤職員対象

問い合わせ先 岡山県社会福祉協議会 福祉経営支援部(福利厚生事業) Tel:086-226-2827

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

会計監査導入
サポート

- 内部統制の構築のしかたはご存知ですか?
- 業務のみえる化ができていますか?
- 適切な帳表を作成し、経営判断に役立てられていますか?

法改正
サポート

- 新理事・評議員はどんな人を選べばいいのか?
- 定款・経理規程はどのように作成するのか?
- 理事会・評議員会はどうやって運営すればいいのか?

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

〈受付時間〉9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



SCB
社福サポート担当
いしはら

福祉の職場見学・体験 ツアーを開催しました！

7月末～8月中旬に、小学4・5・6年生（保護者同伴）及び中学生を対象に「福祉の職場見学・体験ツアー」を開催しました。全5日程で実施し、場所は岡山、倉敷、津山周辺。施設の最寄駅に集合し、半日ずつ高齢・障害関係の福祉施設を巡るバスツアーです。

今回は若年層の方に福祉、介護に興味を持っていただきたいという思いから、従来の高校生以上対象から小中学生対象のツアーとしました。楽しみながら学べるようツアーの内容も見学中心から体験中心へと変更し、各訪問施設に工夫を凝らした体験内容を考えてもらいました。



を学んだり、試食したり…。

障害関係の福祉施設では、ガラス吹き、パン作りや音楽レクリエーションなどの体験をしました。また、

た、職員の方から福祉について、仕事のやりがい、魅力などのお話を聞く場面もありました。

参加者の方からは、「利用者さんとお話したら、にっこりしてくれたのが、とてもうれしかった」「やりがいがあるがとう」という言葉だとして、人と人が関わる素敵な仕事だと思った」といった声が聞かれました。このツアーを通して、福祉の仕事や福祉・介護への理解を深め、これからのくらしの中で関心を持ち続けてくださると幸いです。



平成28年度 小地域福祉活動推進研究会並びに 市町村社協ボランティアセンター検討会 開始

本研究会は、市町村社協の主体的な参画のもと進められる地域づくりの研究の場となります。

本年度の研究テーマは、『地区（小学校区）における住民主体の生活支援サービスの仕組みづくり（身近な支え合いボランティアコーディネートのある方）』です。

ゴミ出しや買い物など日常生活のちよつとした困りごとを地域住民が主体となって支え合う仕組みの研究を通じて、小地域福祉活動の活性化と、地域の助け合い・支え合い活動のコーディネート機能の充実を目指します。

9月2日には第1回を開催。互選により、座長（備前市社協 青



高梁市社協 横林氏
松原地域市民センター館長 東氏

木氏）、副座長（倉敷市社協 日野林氏）が選任されました。

テーマの設定理由や目標の共有のあと、地区社協における住民主体の助け合いサービスを実践している高梁市松原地区社協（松原地域市民センター 館長 東氏）と、その活動を支援する高梁市社協（主任 横林氏）から実践報告を行いました。質疑応答も行い、それぞれ今後の具体的研究に向けて、制度的背景も踏まえた示唆ある報告となりました。

取り組みづくりのプロセスにおけるノウハウの共有や具体的な手順、働きかけや関わりポイントの研究していく予定です。



現場からの発信

学生目線で子どもを笑顔にする活動

「倉敷トワイライトホーム」

子ども支援サークル「つつじ」

子どもの貧困率は、2012年に過去最悪を更新。6人に1人の子ども、約300万人が相対的貧困状態にあるといわれています。特に、ひとり親家庭の半分以上が貧困状態にあるといわれています。

そうした中、岡山県内でも「子どもの貧困」への取り組みが、少しずつ進んできています。今月号では、大学生が主体となり、子どもの居場所づくりに取り組む「倉敷トワイライトホーム」について、川崎医療福祉大学 子ども支援サークル「につじ」の紀さん、藤澤さん、同校の直島先生にお話を伺いました。

「倉敷トワイライトホーム」とは？

この取り組みは、子ども主体の活動で、フラットな環境で自由に過ごせるような居場所をつくることを目的に、活動が始まりました。活動時間は、月曜・火曜・金曜日、16時～21時頃。放課後、大学生が学校に迎えに行き、活動が始まります。外で遊ぶ子、一緒に料理をする子など様々です。季節ごとのイベントも大事にしている、子どもと一緒に寿司をつくり、地域の高齢者に配ったりすることもあります。

冬にはフリーマーケットも開催。ここに来ている子のズボンの膝がぱっくり破けていたので「寒くないの？」と聞くと「寒い…」と



カレーライスの準備を手伝う子ども

いう返事。すぐに地域の方に声をかけて、着なくなった服を募集。これをきっかけに、地域の方との距離も縮まりました。

取材の日は、高学年の小学生と学生で釣りに出かけて、ちょうど帰ってきたところで、40センチを越える思わぬ大物との出会いに、目を輝かせて説明してくれました。

取り組みを始めたきっかけは？

学生が実習先で、同様の活動を知り、岡山県でも行なってみたいと、直島先生に相談したところから動き出しました。核となる視点「地域とのつながりを大事にして行なう」ことを確認。地域のキーパーソンだけでなく、NPO法人にも働きかけました。

その過程を踏むことで、一人、また一人と支援の輪は広がり、今では活動場所にある冷蔵庫、電子レンジ、食器をはじめ、米、野菜等の食べ物まで地域の方から分けていただいていた、本当に助かっています。



地域との距離が縮まったフリーマーケットの様子

取り組んでよかったことを教えてください。

活動を始めて1年ほどですが、いろいろありますね。ここに通う男の子が、ここでしたこと、話したことを、家でお母さんに話しているようで、「楽しそうなお子さんの顔を見て、温かい気持ちになることが増えました。ありがとう」と、言われたことは、本当にうれしかったです。

また、学生も子どもたちから、様々なことを学ぶことで日々成長していて、子どもだけでなく、実は、学生の居場所にもなっています。学生だからこそできること、見える視点を活かして関わってほしいと思っています（直島先生）。



お話を伺った藤澤さん(左)、直島先生(中央)、紀さん(右)

取り組みの課題と、今後への思いについて教えてください。

立ち上げ当初、20人ほどいた学生も今は、3倍にも広がっているため、ミーティングは欠かせませんし、継続的に取り組んでいく

め、後輩のことも考えながら…。

それに学生ですので、授業や試験が重なる時が困ります。あとは、なんといっても、資金面での悩みが大きいのが、本音のところでは、

この取り組みに必要なのは、「思い」、「場所」、「地域の理解」だと思います。子どもたちの心が温まり、いつでも帰って来られる場所として、いろいろな地域に広がっていかばうれしく思います。

最後に、私たちが活動して感じていることがあります。子どもの貧困問題は、経済的な貧困の面だけでなく、人との関係性が乏しく、つながりが貧困している世帯が多いという点です。1人でも多くの子どもが、笑顔で暮らし続けることが、私たちの願いです。

【問い合わせ先】

川崎医療福祉大学

子ども支援サークル「につこ」

代表 紀 奈那（き なな）

住所（大学）倉敷市松島288

TEL 080-1566211495

子どもたちの笑顔のために、ご支援をいただける方、ご連絡をお待ちしております。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成28年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入！！

補償金額（保険金額）

補償金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
賠償責任	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) 基本タイプ+地震・雷・津波		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定期間費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL:03(3593)6824
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJKNK15-17042-2015.02.1号改定)

『ふくし』の

仕事人たち

Vol.28

このコーナーでは、本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の
仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。

特別養護老人ホーム千寿荘

池田 憲治 さん

①「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

幼少期からサッカーを始め、これまで、サッカー中心の毎日を過ごしてきました。大学卒業後には、両親の反対もありましたが、1年間、ドイツのプロサッカーチームに所属し、トップチームの選手を目指していました。

そのため、これまで目標とさえ、サッカーのこと。帰国後、自身と向き合い、これからの目標を模索する中で、『どう人生の最後を迎えたいか』について考えるようになり、介護の仕事を選びました。

②海外経験で得たものは？
今思えば、言葉も分からず、し

んどい1年でしたが、相当、メンタルは鍛えられました。今までは、人にいいように見られたいなど周りを気にしていましたが、『自分』というものを持てるようになりました。

ドイツにいた時に感じたことは、やっぱり日本は素晴らしいということ。今の日本を創り上げた人たちに恩返しをしたいという気持ちで強く持ち始めたのも、この頃でした。

③今、どんな仕事をしていますか？

特別養護老人ホームでご利用者の生活のサポートをしています。介護やレクリエーション、ご利用者との会話など、自分も楽しみながら、仕事をしています。

やってみて思ったことは、奥深い仕事だということ。まずは、「人を知る」、「人それぞれ違うことを知る」、「関わりのある人は色んな人生を歩んできた人、その方を知り、理解する」のがこの仕事だと思っています。

④臨時収入があったら何に使いますか？

家族で旅行に行きたいです。沖縄やデイズニールランド、臨時収入が高額なら、ドイツに家族を連れていきたいです。ドイツにいる時には、ほとんど観光ができていな

いので、ヨーロッパの観光地巡りもいいですね。ドイツのビール、ソーセージは種類も豊富で最高でした。

⑤今後、トライしてみたいことは？

まずは、資格を取得すること。介護福祉士やケアマネジャーの資格取得に向け、現在、勉強中です。また、自分が大好きなサッカーを地域の子どもたちに教えていきたいです。今、住んでいるところにはスポーツ少年団がないため、まずはサッカー教室を開きたいです。

⑥最後に、あなたにとって、「福祉の魅力」とは？

『人生を学べること』です！



SELP 商品のご紹介

社会福祉法人 瀬戸内会
多機能型事業所 あかつき

あかつきでは、利用者と職員で力を合わせ、研究を重ね、手づくりせんべいの職人としての誇りを持って作っております。添加物は一切使用しておりません。乳児からお年寄りまで幅広く召し上がって頂いています。

「サクッ」とした食感が好評で、やみつきになる味です。せんべいの種類は、玉子せんべいのほかに、ピーナッツ味、ゴマ味、青のり味、だったんそば味があり、全5種類の中からお選びいただけます。



- 商品名 玉子せんべい
- 価格 100円(税込)・150円(税込) (だったんそば茶のみ)
- 内容量 50g・80g (だったんそば茶のみ)
- 賞味期限 せんべい全種類 製造から4カ月
- 原材料表示 小麦粉・卵・砂糖
+トッピング(ゴマ・青のり・ピーナッツ・だったんそば茶)

【問い合わせ先】

社会福祉法人 瀬戸内会
多機能型事業所 あかつき
〒706-0305
玉野市胸上725番地
TEL(0863)4113228

編集後記

今年のリオオリンピック・パラリンピックでも、数々のドラマや感動がありましたね。1964年10月10日に、東京で初めてオリンピックが開催され、2020年には、あの感動が、再び東京にやってきます。4年後の目標をしっかりと定め、計画的にコツコツと貯め、是非とも、あの歓声を会場で味わってみたいものです。